

### 3.用地選定について

用地選定委員によって、相良、榛原候補地より選定されたが、この間広報等により、市民に知らせれたが、決定後に市民には広報等のみの情報提供のみで、市民説明会は行われていません。(学校跡地利用は別)

ここで多くの疑問点があるので、陳述します。

まず、ここ牧之原市は「東海・東南海・南海トラフ地震」想定域にあります。そして、市民約4万5千人うち最悪1万5千人の死者数が被害想定されています。そこで、用地選定においては、学校施設の「防災・安全」が最優先されるべきです。

#### ① 候補地選定にあたっての評価基準について、

12年前の「3・11 東北大震災」で学校教育関係で、は多くのことを知らせれました。

- 1, 石巻市大川小学校の悲劇
- 2, 釜石の奇跡
- 3, 原発災害・放射能からの避難

##### 1・石巻市大川小学校の悲劇

石巻市大川小学校は海岸から3.7kmの川沿いに建てられていました。74名の児童と10名の教員が亡くなり(不明者を含め)4名の児童と、1名の教員しか逃げ切れませんでした。

榛原候補地、海岸から約2.5km、勝間田川沿い  
相良候補地、 2.8 km 菅ヶ谷川沿い

##### 2・釜石の奇跡

防災教育・訓練により、小中学校児童生徒、地域住民の協力により、高台への避難ができた。

##### 3・原発災害・放射能からの避難

地震災害発生の、一次避難と、放射能からの2次避難の必要。避難経路の確立、(水没しない、高台尾根・道路など、)

以上の3・11の教訓より、今回の選定評価基準は、防災(安全性)の配点が低すぎる、評価配点の半分が相当と考えられる。(情報公開では、評価基準の配点の根拠資料が分からないとのこと)

以下配布資料より、独自修正評価配点によれば、高台移転の方が有利とも考えられる。

② 用地選定は、総合評価シートでは問題があるのでは？

10名の選定委員の互選で候補地から選定されたと考えたが、実際は、すべての点を合算した無謀な候補選定ではないか。

つまり、「山側と海側」の候補で、9名が各自「100点 対 95点」で「山側」を選んでも、1名が「海側」を「50点 対 100点」で選べば、総合点で、「海側」となってしまう。

ここで数字のマジックを使う事はない。

③ 個別総合評価シートを見て

あまりにも「ばらつき」が多い！これが討論会合を経ての事なので、(初見の評価ならわかるが) 選考委員間で、認識の違い、評価の差がありすぎるのは、結論が早すぎたのではないかと十分な審議がなされていない証拠となる。

④ 最後に、昨年6月の倉斗綾子准教授の講演会で、陸前高田東中学校が高台移転と同じように、配布資料での、榛原「ぐりんぱる周辺」相良「い〜らから、総合グランド周辺」の高台を予想していた先生に、来年2月の講演会で、川沿いの低地に決まったことを「笑われなければいいが？」